

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年 5 月26日
【会社名】	株式会社フェニックスバイオ
【英訳名】	PhoenixBio Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 島田 卓
【本店の所在の場所】	広島県東広島市鏡山三丁目 4 番 1 号
【電話番号】	(082) 431-0016 (代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 田村 康弘
【最寄りの連絡場所】	広島県東広島市鏡山三丁目 4 番 1 号
【電話番号】	(082) 431-0016 (代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 田村 康弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2020年5月22日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

連結決算

連結子会社であるKMT Hepatech, Inc.は、ヒト肝細胞キメラマウスを用いた事業を北米で展開し、特にNational Institutes of Health(アメリカ国立衛生研究所 以下、「NIH」)の研究予算を基に抗肝炎薬の開発を行っている製薬企業及び研究機関に対して受託試験サービス及び製品販売の実績を有しており、当社は、2017年12月に北米でのPXBマウスの供給体制構築と事業拡大を目的に、同社の株式を取得し完全子会社化いたしました。しかしながら、同社で実績がありました受託試験サービスの売上については、NIHの新規予算執行の目処が立たないこと、また、現在、同社を北米のPXBマウスの生産拠点として設備投資及び技術移転を進めていますが、未だ十分な収益化に至っていないことから、これらの状況を鑑みて、回収可能額が著しく低下しているとして、同社に係るのれん259百万円及び固定資産(使用権資産)32百万円の計292百万円を減損損失として特別損失に計上することになりました。

個別決算

当社が保有する連結子会社KMT Hepatech, Inc.の株式について、実質価額が著しく下落したため、2020年3月期の個別決算において、関係会社株式評価損として特別損失482百万円を計上することになりました。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

連結決算

当該事象の発生により、2020年3月期の連結決算に減損損失292百万円を特別損失として計上いたしました。

個別決算

当該事象の発生により、2020年3月期の個別決算に関係会社株式評価損482百万円を特別損失として計上いたしました。

以 上